樂浪郡疆域考

樂浪郡疆域考

昭和五年六月十六日　大原利武

朝鮮總督府中樞院

樂浪郡疆域考

目次

樂浪郡疆域考

緒言

漢ノ武帝朝鮮（衛氏）ヲ滅スヤ、其ノ故地ニ樂浪・眞番・玄菟・臨屯ノ四郡ヲ置キシガ、二十餘年ノ後眞番・臨屯ノ二郡ヲ廢シ、玄菟郡ヲ遼東（南滿洲）ニ移セシヲ以テ、半島内ニハ樂浪ノ一郡ノミトナレリ。而シテ臨屯郡ノ故地ヲ樂浪郡ニ編入セシ爲メ同郡ハ大ニ膨脹シテ二十五縣ヲ統轄スル大郡トナレリ。其ノ後新ヲ經テ後漢ニ至リ嶺東（脊梁山脈以東）七縣ノ地ヲ放棄セシヲ以テ十八縣ニ減少シ同朝末ニ至リ公孫

氏遼東ヲ割據スルニ及ビ樂浪郡南部ヲ割キテ帶方郡ヲ新設セシタメ更ニ大ニ縮少セリ。然ルニ此ノ樂浪郡管下諸縣ノ位置並ニ其ノ疆域未ダ判明セザル朝鮮史上大遺憾トスル所ナリ。依テ此ノ問題ニ關シ愚見ノ梗概ヲ述ベン。

一、樂浪郡在滿洲說ト在朝鮮說

樂浪郡ノ疆域ニ就テハ滿洲說ト朝鮮說トアリ。一般朝鮮內ニアリト信ゼラルヽモ在滿洲說亦少カラズ。滿洲說ノ根據ハ恐ク遼史ナラン。遼書地理志東京道ノ

條ニ

東京遼陽府本朝鮮之地。周武王釋ニ箕子囚一。去之ニ朝鮮一。因以封レ之。作ニ八條之教一。尚ニ禮義一。富ニ農桑一。外戸不レ閉人不レ盗。傳ニ四十餘世一。燕屬ニ眞番朝鮮一。始置レ吏築レ障。秦屬ニ遼東外徼一。漢初燕人滿王ニ故空地一。武帝元封三年定ニ朝鮮一。爲ニ眞番・臨屯・樂浪・玄菟四郡一。

トアリ。金史及元史ハ之ヲ繼承シ地理志中ニ略同一ノ記事ヲ記載セリ。又遼史ニハ遼陽府ノ條ニ樂浪郡管下ノ浿水縣鏤方縣等故地アリシコトヲ記述セリ。而シテ

北ノ在滿洲說ハ支那ノ學者中ニ多ク我國ニテハ西川權氏「日韓上古史の裏面」ニ於テ之ヲ論ゼリ。

内鮮學者間ニハ在朝鮮說最モ多ク、有名ナル朝鮮ノ考證家丁若鏞ハ古朝鮮ト支那トノ境界タル浿水ヲ以テ現今ノ鴨綠江トナシ古朝鮮ノ全疆域ヲ半島ニ限定セリ。從ツテ其ノ故地ニ置カレシ樂浪郡モ亦半島内ニ推定セルハ勿論ナリ。朝鮮歷史地理ノ著者津田左右吉博士モ全ク同說ナリ。

[illegible]時ニ在滿洲ノ理由ニ非ズ、[illegible]其前述ノ如ク樂浪郡ノ疆域ニ關シ二說アリテ各相當ノ理由アルモ、各一方ニ偏スル傾向アリ。又先生ガ樂浪郡ノ疆域ヲ雙方ニアリシモ之ヲ換言セバ滿鮮ニ跨レルモ（九）ト推定スルモノナリ。平壤ノ對岸、大同郡大同江面唐土城ガ樂浪郡治址ト確定シ、其ノ他黏蟬・帶方・列口等同郡管下諸縣ノ位置確定セル今日ニアリテハ同郡ノ管轄區域ハ朝鮮半島ニアリシコト明白ナル（十）同時ニ滿洲ヲモ包括セシモノト認ムベキ理由モ亦少カラズ。今其ノ二三ヲ擧

クレバ、

(一)遂成縣

晉書地理志ニ

秦築長城之所起

トアリ。滿洲遼河ノ岸ニアリシヤ明カ

大ナリ。

(二)浿水

ニテ浿水ノ位置ニ關シテハ諸説紛々トシテ未タ決定セザルモ、滿洲ニアリシヤ明カナリ(浿水考參照)其ノ理由ハ漢ノ武帝朝鮮ヲ攻ムルニ當リ、史記朝鮮列傳ニ「天子募罪人」擊朝鮮其

秋遣樓船將軍楊僕、從齊浮渤海。兵五萬人」トアリ。此ノ渤海ハ現今ノ渤海灣ニシテ漢ノ渤海郡ハ現今ノ直隷省南部ニアリ。又黄海ハ漢代ニハ東海ト呼ベリ。故ニ浿水ハ渤海灣ニ注ゲル河川ナリ。從テ其ノ附近ニアリシ王險城モ滿洲ニアリシコト明瞭ナリ。又之ト同時ニ樂浪郡管下ノ浿水縣及增地縣（浿水西流シテ增地ニ至ル海ニ入ルトアリ）モ滿洲ニアリシモノト認メ得ベシ。

(三)鏤方・海冥・長岑三縣

（三）右三縣ハ遼史ニヨレバ皆滿洲内ニアリ。而シテ海冥・長岑二縣ハ後ニ帶方郡ニ編入セラル）アリヲ見ルベク同郡設置ノ際南方ニ移サレシモノナラン。

三、樂浪郡管下ノ諸縣

樂浪郡管下ノ諸縣ハ漢書地理志ニヨレバ二十五縣アリ、然レドモ之ハ臨屯郡廢止後同郡管下ノ七縣ヲ併合セルモノナレバ設置ノ當時ハ十八縣ナリシナラン。然ルニ後漢ニ至リ此ノ七縣ヲ放棄セシヲ以テ再ビ十八縣トナレリ、又前漢ノ呑列縣

ヲ廢シテ樂都縣ヲ新設セリ。而シテ同朝末ニ至リ公孫康屯有以南ノ荒地ヲ割キ帶方郡ヲ設置スルト共ニ樂浪郡ヲ大ニ縮少セリ、而シテ晉代ニ入リ䛁邯・樂都・占蟬・浿水・增地ノ五縣ヲ廢シ僅ニ六縣トナセリ。蓋シ此ノ五縣ノ~~地~~中多數ハ新興ノ高句麗ニ奪取セラレシナルベシ。今漢・後漢及晉時代ノ縣名ヲ擧ゲバ左ノ如シ。

前漢書地理志

樂浪郡 武帝元封三年開、莽曰樂鮮、屬幽州、應劭曰、故朝鮮國也、師古曰、樂音洛、浪音狼、 戸六萬二千八百一十二、口四十萬六千七百四十八、有雲鄣○縣二十五

朝鮮應劭曰、武王封箕子於朝鮮、䛁邯孟康曰、䛁音男、師古曰、䛁音乃
甘反、邯音酣、浿水水西至增地入海、莽曰樂鮮亭、師古曰、浿音普大反、含
資帶水西至帶方入海、黏蟬服虔曰、蟬音提、遂成 增地莽曰
增土 帶方 駟望 海冥莽曰海桓 列口 長岑
屯有 昭明南部都尉治、鏤方 提奚 渾
彌師古曰、渾音下昆反、吞列分黎山、列水所出、西至黏蟬入海、行八百二十
里、東暆應劭曰、暆音移、不而東部都尉治、蠶台師古曰、台音胎
華麗 邪頭昧孟康曰、昧音妹、前莫 夫租

後漢書郡國志

樂浪郡武帝置、雒陽東北五千里、十八城、戶六萬一千
四百九十二、口二十五萬七千五十 朝
鮮 䛁邯 浿水 含資 占蟬 遂城

増地　帶方　駟望　海冥　列口　郭璞

註　山海經曰、列水　名列水在遼東　長岑　屯有　昭明

鏤方　提奚　渾彌　樂都

（四）晉書地理志

樂浪郡　漢置、統縣六、戸三千七百

朝鮮　周封箕子地　屯有　渾彌　遂城　秦築長城之所

起　鏤方　駟望

帶方郡　公孫度置、統縣七、戸四千九百

帶方　列口　南新　長岑　提奚　含

資　海冥

以上ノ樂浪郡二十七縣ヲ地方別ニ分類スレバ左ノ如シ。

(一)滿洲ニアリシト認メラルルモノ四縣

遂成・鏤方・渾水・增地

(二)初滿洲ニアリ、後朝鮮ニ移動セシモノ

ト認メラルルモノ二縣

海冥・長岑

(三)朝鮮内ニアリ而シテ最後マデ樂浪郡管下ニ

アリシモノト認メラルルモノ七縣

朝鮮・謝邯・駟望・渾彌・呑列・黏蟬・屯有

(四)後漢ニ新設セラレ晉ニ至リ廢止セラレ

シモノ一縣

樂都

(五)初樂浪郡ニ屬シ後帶方郡管下ニ入リシ

モノ五縣
帶方・含資・列口・昭明・提奚
(六)帶方郡設置後新設セラレシモノ一縣
南新
(七)初臨屯郡ニ屬シ後樂浪郡ニ編入セラル
後漢ニ至リ放棄セラレシモノ七縣
東暆・不而・蠶台・華麗・邪頭昧・前莫・夫租

四、在滿洲諸縣ノ位置
在滿洲ノ諸縣ハ前述ノ如ク遂成・鏤方・渾
水・增地・海冥・長岑ノ六縣ニシテ終ノ二縣ハ
後ニ帶方郡ニ編入セラレシモノナリ。

(一)遂成縣(後漢ニ遂城ト改名)
本・晉書地理志註ニ
秦築長城之所起
トアリ。又杜佑通典ニ
碣石山在漢樂浪郡遂成縣、秦長城東
截遼水起於此、遺址猶存云、
トアリ。遼東郡襄平縣及望平縣ノ関係
ヨリ推定スレバ奉天(瀋陽)ノ西共ニ當ル
遼河ノ沿ナルベシ。
(六)鏤方縣
遼史地理志東京遼陽府ノ條ニ
紫蒙縣本漢鏤方縣地、後拂涅國置ニ東

平府一、領二蓋蒙縣一、後從二遼城一、并二入黄
領縣一、渤海復爲二蓋蒙縣一、户一千、
トアリ。讀史方輿紀要遼東都指揮使司ノ
條ニ
蓋蒙城在二司東一、遼志漢鏤方縣地、
渤海復置二蓋蒙縣一、遼因レ之、屬二遼陽府一、
金廢、
トアリ。大清一統志
蓋蒙廢縣在二遼陽州東一、遼置、屬二遼陽
府、金廢
トアリ。現今ノ遼陽ノ東方ナルベシ。
(三)浿水縣(新樂)鮮亭ト改メ、後漢浿水ニ復

(三)以晉廢ス)

史記朝鮮傳註ニ曰ハ亮樂浪縣ト稱セシガ如シ。而シテ王莽ハ樂浪郡ヲ樂鮮郡ト改メ又ト共ニ此ノ縣ヲ樂鮮亭ト改名セシヲ見レバ郡治ヲ此處ニ移サレシナルベシ。史記朝鮮傳ニヨレバ漢軍ハ浿水ヲ渡リテ王險城ニ至レリ。又朝鮮王ノ都城ハ險瀆ト稱ス。遼史地理志ニ

集州懷衆軍下刺史古陴離地、漢屬險瀆縣、高麗爲霜巖縣、渤海置州、統縣一

十奉集縣渤海置

トアル。險瀆縣ハ遼東郡ノ屬縣ニシテ廣寧ノ東北ニアリ、故ニ此ノ險瀆縣トアル八誤ナラン但シ朝鮮王都ノ地トシテ險瀆ノ地名アリシモノト認メ得ベシ。漢朝鮮ヲ滅シ其ノ故地ニ郡縣ヲ置クニ當リ重要地タル都城ニ有力ナル縣ヲ置キシモノト認メ得ベク、險瀆ノ地タル王險城ニハ恐クハ浿水縣ヲ置カレシナラン。浿水縣ノ古名ハ樂浪縣ナルベク其後又樂鮮郡ノ治所トナリシ關係上、此ノ浿水縣ヲ以テ朝鮮ノ舊都城ノ

地ト認定スル不當ナル推定ニ非ルベシ。果シテ然ラハ須水縣ハ奉集縣ノ附近ニアルベシ。奉集縣ハ金代ニ之ヲ廢シ元ハ其ノ地ニ奉集堡ヲ置ク。現今奉天（瀋陽）府ノ東南約七里沙河々邊ニアリ。シ猶亦生[illegible]須水ハ此沙河ナラムト推定ス。[illegible]

(四)

増地縣（新増土ト改メ後漢増地ト復シ[illegible]晉廢ス）[illegible]

漢書地理志須水縣ノ註ニ[illegible]ト水西至増地入海[illegible]トアリ。[illegible]即チ須水西流シテ増地縣ニ至

リ海ニ入ルノ意ナリ。渤海湾北部ハ遼河及其ノ支流ヨリ絶エズ多量ノ土砂ヲ運搬沈澱シ年々新地ヲ構成シツヽアルハ周知ノ事實ナリ。明代ニハ海城ノ西五清里ニ海アリシガ現今ハ遥ニ南方ニアリ。故ニ二千年ノ古代ニアリテハ海水ハ遠ク北方ニ灣入セシナルベシ。

又遼河及支流ノ両側ニ當リ小湖沼点點散在シ雨期ニ至レバ忽チ氾濫スル低地多シ（沙河下流太子河ノ北方ニ）モ此種ノ小湖沼數箇ト其ノ附近ニ氾濫低地アリ、蓋シ古代ニ於テ内海ナリシナ

ルヘカ。依テ増地ハ遼陽ノ西方沙河ノ
沿岸ニアル側近ト認ム。
(五)海冥縣(新海植ハ改メ後漢海冥ニ復ス)ハ
遼史地理志ニ
興州中興軍節度使、本漢海冥縣地、
渤海置州、故縣三、盛吉・蒜山・鐵山皆
廢、戸二百、在京西南三百里、
トアリ。金史地理志瀋州ノ條ハ
挹婁、遼舊興州興中軍、常安縣、遼
嘗置定理府刺史於此、本挹婁故地、
太定二十九年章宗更名、有范河・清河、
國名即隈勿刺、

ト[illegible]。讀史方輿紀要鐵嶺衛ノ條ニ云

[illegible]挹婁城[illegible]衛南六十五里、[illegible]本挹婁地、[illegible]遼史漢樂浪郡海冥縣地、－－－－大定二年改爲挹婁縣、[illegible]屬瀋州、[illegible]元縣廢、[illegible]今爲懿路所、[illegible]

トアリ。[illegible]大清一統志ニモ同様ノ記事アリ唯左ノ點ヲ異ニセリ[illegible]

[illegible]屬瀋州、[illegible]元廢、[illegible]明時訛爲懿路城、[illegible]周[illegible]里有奇、[illegible]永樂五年修築、[illegible]置左[illegible]中[illegible]戸所於此、[illegible]今爲懿路站、

（六）[illegible]トアリ。[illegible]之ニヨレバ挹婁ハ明時ニ懿路ニ變訛セリ、[illegible]蓋シ同音ナラン。[illegible]此ノ地

八鐵嶺ト奉天（瀋陽）ノ中央ニアリ。

（六）長岑縣。

遼史地理志ニ

崇州隆安軍刺史本漢長岑縣地、渤海置州、故縣三、崇山・潙水・緑城皆廢、戸五百、在京東北百五十里、統縣一、崇信縣。

トアリ。讀史方輿紀要ニ

崇信城在衛東、遼志漢長岑縣地、屬樂浪郡、渤海置崇州、遼仍置崇州、亦曰隆安軍、并崇山等三縣、置崇信縣、為州治、在東京東北百五

ハ十里、ニテ今廢[illegible]（[illegible]）ノ[illegible]
トアリ。大清一統志ニ[illegible]
ヲ崇信廢縣、ハ在承德縣東、ニテ遼志地理志、
ニハ崇州隆安軍、[illegible]金廢、[illegible]按長岑
故縣漢屬樂浪郡、[illegible]在今朝鮮界内、ノ遼崇
（ソ）[illegible]州即其地也、
ソトアリ。[illegible]遼史ニヨレバ現今ノ奉天（瀋陽）
[illegible]附近ニアルベシ。而シテ此ノ海冥長岑
人ノ二縣ハ後ニ帶方郡ニ編入セラレタル
[illegible]見レバ滿洲ヨリ黃海道方面ニ移動セ
シモノナルベシ。而シテ其ノ移動ハ蓋
シ帶方郡設置ト同時ナラン。

ヲ帯方郡ニ設置セシト[illegible]ナラン

[illegible]五、朝鮮内諸縣ノ位置　其ノ諸縣ハ[illegible]

朝鮮内ニ於ケル諸縣中後ニ帯方郡ニ編入セラレシモノハ茲ニ（縣ナリ）（詳細ハ帯方疆域考）ニ讓リ、茲ニ最後マデ樂浪郡管下ニ置カレシ諸縣ニ就キ記述スベシ。[illegible]

（七）朝鮮縣（其ノ位置）

此ノ縣ハ國名ト同ジク衛氏ノ都城ノ地ナリシナルベシ。或ハ樂浪郡治ト同一ナラントモ思ハルル點ナキニアラザルモ全ク異物ナリ。前述ノ如ク王險城ハ浿水ノ東ニアリテ漢ノ浿水縣（元樂浪縣）ノ地

ナルコト浿水考ニ述ブルガ如シ。之ヲ
要スルニ衛氏ノ都城タリシ王険城ハ滿
洲ニ在リ。故ニ此ノ都城ヲ箕子後裔諸
王ノ都城ト認メ得ベシ。山海經ニ
朝鮮在列陽東海北山南。列陽屬燕。
東海之内北海之隅有國名曰朝鮮。
トアリ。列陽ハ列水ノ北岸ナレバ江南
(ロ)樂浪郡治址(大同郡大同江面土城址)ノ
地ト異レリ。他ニ之ヲ求メサル可ラズ。
其ノ候補地トシテ左ノ三地アリ。
(イ)南京里(大同郡柴足面)大同江北岸
北ニ山ヲ負ヒ南及東ハ大同江ニ臨ミ。

西ニ在リ東西約一里十五町
(ハ)南北約二十町ノ小平野ニシテ
小丘アルモ大體ニ於テ平坦ナリ　地
名ヲ王城ト關係アリ。
(ロ)漢岱里　江東郡馬山面漢王里(大同
江北岸)
漢岱里又ハ漢王里ノ地名ハ漢族ト關
係アルモノト認メ得ベシ。此ノ地ハ
沸流江ト合流點ニ近ク陽德ヲ經テ
元山ニ通ズル道路ノ要衝ニ當レリ。
唯地勢狹小ノ憾アリ。附近ニ古墳多
シ。

(六)平安南道平原郡漢川面漢川ハ海水深
ク灣入ス現今ハ干潟地トナリ居レ
ルモ古代ニ於テ良港タリシナラン
ト認メ得ベク又附近ニ「漢橋」ト稱ス
ル地アリ而シテ漢川ヲ中心トシテ
廿一里西北廿八里ニ至ル「廿」字ヲ附セ
ルハ八ツノ里アリ而シテ其地一帶ノ
丘陵上ニ漢式古墳散布シ塼屑散在ス
ト云フ又漢川ノ東北ニ當ル青山面
(八)桂山里ヨリモ塼出土セリト云フ蓋
シ漢川及漢橋ハ樂浪時代ニ於テ支那
人ノ有力ナル一殖民地ト認メ得ベク

大縣治ノ址ナルベク、而シテ「漢」「甘」ト
共ニ支那人ノ代名詞ナルコトカ

(八)呑列縣（後漢廢ス）

漢書地理書疑ニ

分黎山列水所出、西至黏蟬入海

トアリ。故ニ呑列縣ハ列水ノ上流ニシテ其ノ水源地方ヲ支配スル縣ナラザル可ラズ。順川郡仙沼面龍岩里ヨリ漢式ノ塼出土セリ。蓋シ古墳址ナラン。呑列縣治ハ蓋シ順川郡若クハ价川郡内ニアリシナラン。

(九)樂都縣

呑列縣ハ後漢郡國志ニナシ、即チ國縣ノ廢
止セラレシモノナラム、而シテ其代リニ
樂都縣アリ、故ニ樂都縣ハ呑列縣ニ近
キ所ニ設置セラレシナラムカ。
(十) 黏蟬縣(後漢占蟬ト改名シ晉廢之)
前漢地理志ニハ黏蟬トアルモ後漢郡國
志ニハ占蟬トアリ、蓋シ同音ナラム。
明治四十三年平安南道龍岡郡海雲面ニ
黏蟬碑發見セラレ、碑文字ノ書體ニヨ
リ漢代ノモノト推定セラレタリ、碑文
ニヨレバ黏蟬縣長カ神ヲ祭リ五穀豐穰
境内安穩ヲ祈リシモノナリ、唯年號ノ

文字ノ一部欠損セルタメ以テ確的ニ年代ヲ斷定スルコト能ハザルハ憾アリ。而シテ此ノ碑ノ附近ニ土城アリ、又博槨ヲ有スル古墳發見セラレ、同地ガ漢代ノ黏蟬縣治地タルコト明瞭トナレリ。碑ノ黏モ黏ト同音ナラン。

(十一)屯有縣

後漢末公孫康屯有以南ノ荒地ヲ割キ帶方郡ヲ新設セリ。故ニ此ノ縣ハ樂浪帶方二郡ノ境界ニアリシヤ明カナリ。而シテ夫帶方郡設置ノ當時ハ同郡ニ編入セラレシモノナラン。然ルニ晉書地理志ニ

ヨリ[illegible]此ノ縣ハ樂浪郡ノ管下ニアリ。
蓋シ移管セ[illegible]。帶方郡ハ主
トシテ載寧平野ニアレバ屯有縣ハ黄州
郡内ナランカ。同郡黒橋面ニハ塼槨ヲ有
セル古墳數基發見セラレ[illegible]、縣治ハ
黄州附近ナランカ。

(十二)䛁邯縣(晉廢ス)

(十三)駟望縣[illegible]大[illegible]

(十四)渾彌縣[illegible]、[illegible]

此ノ五縣ノ位置ハ全ク不明ナリ。[illegible]併シ
其ノ中ノ六縣ハ郡治ト同所ニアリシナ
ラン[illegible]、又他ノ二縣ハ平安北道寧邊郡内

反楚山郡内ニアリシナラント推定ス、
其ノ理由左ノ如シ。
(イ)平安北道寧邊郡古城面五石(面事務所所在地)ノ東方一里餘古城洞ニ「渭川城址アリ」。東國輿地勝覧寧邊大都護府ノ條
建置沿革
(前略)撫州本高麗雲南郡青山云古成宗十四年稱撫州防禦使、高宗十八年避蒙兵入于海島、元宗二年出陸屬渭州古城屬嘉州(下略)
古跡

（前略）古渭州
在府西四十里、本樂陵郡、一
云古德城、高麗改今名爲防禦使、
文宗四年築城後州廢、元宗十
年爲撫州治所、有土城、周四千
五百六十尺、諺傳渭州城、
トセリ。此ノ「樂陵」ハ[illegible]音ニシテ樂浪
ニ類似シ、陵ト浪ハ混用セラルヽコ
ト多シ。故ニ樂陵ハ樂浪ノ轉訛ナル
ベシ。「本樂陵郡」トアルハ此ノ地ニ樂
浪ノ一縣アリシコトガ口碑ニ殘
セシ爲ナルベシ。未ダ踏査ノ暇ナキ

モ五萬分ノ一地圖ニヨレバ大ナル土城ニシテ略方形ヲナセリ。ト蓋シ樂浪時代ノ土城址ニシテ高麗時代ニ増築セラレシモノナルベシ。果シテ然ラバ䛁邯・駟望・渾彌三縣ノ中ナルベク、恐ラクハ渾彌縣ナランカト推定ス。

(ロ)平安北道楚山郡

楚山郡内ニハ古墳存在ス。同郡東面ノ東南隅梗嶺附近ニ古墳數基アリト云フ。又桃源面館堡洞陸堡洞ト稱スル地アリ。同所モ古墳アル(不滿)ヨリ其ノ名ヲ得シモノナラン。

又同郡內ヨリ昨年多數ノ明刀出土セル古墳アリテ古朝鮮時代支那ト交通セシ要路ニ當リシヿヲ證明セリ。而シテ前記三縣中邯鄲縣ハ晉ニ至テ廢セラレタリ當時高句麗漸ク強大トナリ頻ニ遼東樂浪玄菟ヲ侵略セシヲ以テ邯鄲ノ如キモ高句麗ニ侵略セラレシ為メ廢縣トナリシモノト想像ス。果シテ然ラハ高句麗ニ近キ慈山ノ地ハ邯鄲縣ナラン。

(八)樂浪郡治址ニモ一縣ヲ置カレシナルベク以上三縣中ノ一縣ハ郡治ニ

アリシモノト想像シ得ベシ。而シテ
渾彌縣ハ平安北道寧邊郡古城面ニ、
謝耶縣ハ同道楚山郡ニ假定セバ、驅
望縣ハ恐ラク樂浪郡治ト同一ノ場所
ニアリシナランカ。

六、嶺東ノ諸縣
嶺東ノ諸縣ハ東暆・不而・蠶台・華麗・邪頭昧・
前莫・夫租ノ七縣ニシテ單單大嶺即チ脊
梁山脈以東ノ地ナリ。此ノ地方ハ初メ臨
屯郡ニ屬セシ事ハ漢書帝紀武帝元年ノ條

(十六)眞朝鮮、斬右渠降、以其地為樂浪・臨屯・玄
菟・眞番郡、
トアリ。其ノ註
臣瓚曰、茂陵書、臨屯郡治東暆縣、
(十七)長安千一百三十八里、十五縣、
トアリ。而シテ此ノ臨屯郡ハ昭帝ノ時廢
セラル。後漢書東夷傳ニ
至昭帝始元五年、罷臨屯・眞番、以幷樂
浪・玄菟、玄菟復徙居句驪、自單々大領
(十八)已東、沃沮・濊貊悉屬樂浪、後以境土
廣遠、復分領東七縣、置樂浪東部都尉、
建武六年、省都尉官、遂棄領東地、

悉封其渠帥爲縣侯皆歳時朝賀

トアリ。臨屯郡開設ノ當時ハ十五縣アリ

シ(ガ)廢止ノ際、廢縣アリテ十[illegible]樂

浪郡管下トナリ七縣ニ縮小セリ。臨屯

郡ハ蓋梁山脈ノ東方ニ當リ、日本海ニ面セ

ル地方ニシテ現今ノ江原道海岸地方ト推

定セラル。

(十五)東暆縣

臨屯郡治ヲ置キシ地ニシテ郡ノ中樞

要ナル地ナルベシ。現今ノ江陵ナ

ラントノ説アルモ判明セズ。

(十六)不耐縣

樂浪郡管下ニ東部都尉置カレシ時其ノ治所ナリシ地ナリ。故ニ東濊縣ト等シク交通ノ衝ニ當レル要地ナルベシ。

三國志魏志毋丘儉傳ニ

六年復征レ之、宮遂奔二買溝一、儉遣二玄菟太守王頎追レ之、過二沃沮一千有餘里、至二肅慎氏南界、刻レ石紀レ功、刊二丸都之山一、銘二不耐之城一、

ト見ル。之ニ由レバ或ハ咸鏡道最南部ノ邊ナランカ。其ノ他ノ諸縣ノ位置ハ全ク判明セザルモ咸鏡南道南部ヨリ江

原道海岸ニ点々散在セシナラン。説文ニ

鰅皮有文、出樂浪東暆、神爵四年初捕、收輸考工、魵鯱出薉邪頭國、鮮出貉國、魦鰝鯜鱳鯛鰻出樂浪潘國、

ト見ル、王之ニ因ル東暆・邪頭（邪頭昧）ハ海岸地方ナルコト明カナリ。

七、樂浪郡ノ南界

樂浪郡ノ南界ハ帯方疆域ニ述ブルヲ以テ簡單ニ之ヲ記述スベシ。前述ノ如ク帯方郡ハ樂浪郡ノ南部諸縣ヲ割キ新設セル

郡（帶方郡）ノ南界ハ即チ舊樂浪ノ南界。帶方郡諸縣ノ位置ハ左ノ如シ。

（十七）帶方縣

縣治ハ郡治ト同所ニシテ黃海道鳳山郡文井面土城里ニ確定セリ。附近ニ帶方太守ノ古墳アリ。

（十八）含資縣

瑞興江即チ古代ノ帶水ノ上流地方ヲ管轄セシ縣ナレバ瑞興郡平山郡新溪郡ヲ包括シ其ノ縣治ハ恐クハ新溪附近ニアリシナランカ。

（十九）昭明縣

(十九)昭和三年夏信川郡西部面ヨリ昭明ノ文字アル塼出土セリ　縣治ハ同郡内ナラン。

(二十)列口縣

列水ノ河口即チ大同江口ニ在リ此ノ縣

(廿一)含資殷栗郡又ハ松禾郡世部ニ當ル殷栗西部面ニ塼墳アリ。

(廿二)南新縣

晋代ニ於テ昭明縣ヲ廢シ代置キ

(廿三)縣址ハ、信川郡内ナラン。

(廿四)提奚縣

(廿五)海冥縣(重出)

(四)長岑縣(重出)

此三縣ノ位置不明ナリ。蓋シ松禾長淵・安岳・載寧・遂安ノ諸郡中ニアリシナラン。又終ニ三縣ハ前述ノ如ク遼史ニ曰ナルベ満洲ニアリ。恐ラクハ帶方郡設置ト同時ニ黄海道ニ移サレシモノナラン。歟ニ帶方郡ノ外城トナセル離營ノ地ハ蓋シ現今ノ平山郡麒山面麒麟里ナラン。又古代ニ於テ大船ヲ出入セル苓中ハ延白郡銀川面白川邑ノ西方ニ當レル漢城里ナラン。

漢書地理志元菟郡西蓋馬縣ノ註ニ
馬訾水西北入塩難水西南至西安平入海過郡二行一千一百里
トアリ、馬訾水ハ現今ノ鴨緑江ナルコト學者間ノ定論トナリ居レリ、郡ヲ過クルコト二トアルハ源ヲ玄菟郡内ニ発セル馬訾水ガ樂浪遼東二郡ヲ過グルコトヲ云ヒシモノニシテ樂浪郡カ滿洲マデノ延長セシコトヲ証セリ

結論

樂浪郡ノ大部分ハ朝鮮半島内ニアリシモ、ハ遂ニ國時ハ其ノ一部ハ滿洲ニ屆リト云ヘバ又甚ダ不合理ナルガ如ク、今日ノ行政區劃ヨリ推セバ斯ノ如キ區分ハ實ニ不可解ナルガ如キモ是全ク事實ニシテ當時ニアリテハ蓋シ當然ナル方法ナリシナルベシ。[illegible]ハ帯方郡設置ト漢ノ武帝衛右渠ノ朝鮮國ヲ滅ボシ、其ノ故地ニ樂浪等四郡ヲ置キシガ、後樂浪ヲ除ク他ノ三郡ハ或ハ廢セラレ或ハ移サレテ大ニ縮小セルニ係ラズ、獨リ

樂浪郡ハ最後迄デ繼續セリ。テ郡治

ニ故朝鮮王都ナリシ朝鮮縣

及浿水縣ヲ其ノ管下ニ有セシヲ以テ知ル

此ノ點ヨリ見ルモ樂浪郡ハ故朝鮮

國ノ根幹ニシテ國中ニ於ケル開明ノ最モ

多數ヲ占メシコト明カナリ。猶屬漢後ニ

於テ管下ニ十五縣四十萬七千人ノ多數

ヲ擁シ滿鮮ニ於ケル漢ノ郡中

縣戸口共最大ニシテ最モ有力ナル郡ナ

リ。換言セバ事實上ノ故朝鮮國全

部ヲ包括セシト云フベシ。

此ノ十五縣中郡ノ中樞ヲ爲セシ

ノ沙大同江流域ニシテ平壌ト對岸ニ郡治ヲリ、而シテ戴寧江流域ノ數縣ハ昭明縣(信川郡)ニ南部都尉ヲ置キ單單大嶺以東ノ地即チ江原道海岸地方ニ東部都尉ヲ不耐縣ニ置キテ之ヲ管轄セリ。又滿洲奉天及遼陽附近ニ樂浪郡ノ一部アリ。故ニ大同江流域(殆ト上下流ノ地方ナリ三)江原道方面並ニ滿洲方面ト其ノ間荒蕪地ナ山岳地ナリ蠻人ノ部落介立セシナラン。

古代郡縣ハ人口ニ比シ其ノ面積甚ダク廣ク、河邊又ハ海岸ノ肥沃地又ハ交通

ノ要地ニ郡縣治又ハ村落ヲ設ケ、漸ク文化ノ
棲息ニ不便ナル山間地帯ハ荒蕪ノ儘ニ殘
セシモノナルベシ。今日ニ於テモ之ト類似
セル露領沿海州又ハ南洋「ボルネオ」等ノ状
況ヲ見レバ思半ニ過グルモノアラン。殊ニ
ハ滿洲ノ遼陽奉天附近ハ蓋シ秦代ノ上下
障ノ地ニ當リ、又ハ浿水（浿河ナラン）ノ東ニ於
衛滿以後ノ都城タリシ王險城アリ、此ノ
地ニハ秦末漢初ニ當リ燕齊方面ヨリ移住
逃レシ多數ノ漢族アリ、而シテ之ヲ統率シ
シ其ノ勢力ヲ以テ列水即チ大同江ニ都
城ヲ定メシガ箕準ヲ襲ヒ其ノ國ヲ奪ヒシ後モ、

然其ノ信頼セル漢族移民ヲ多ク舊城ニ都
シ其ノ以テ支那トノ世満洲内ノ交通路ヲ扼シ
真番ト共ニ交通ノ管理セシモノト推定シ得
ベシ、此ノ如キ國状ニ於テ更ニ満洲ニ衛
氏朝鮮ノ重要都市タリシハ勿論ナリ。而シ
テ武帝ノ朝鮮ヲ滅シ其ノ故地ニ四郡ヲ置
クニ當リ、此ノ満洲ニ於ケル故朝鮮ノ領
土ト共ニ水流域ノ同國領土ヲ合セテ樂浪郡
ヲ置キシハ當然ノ措置ニシテ、又満洲ニ
於テハ樂浪郡ノ西部及南部ヲ隣接セシ直
領地並ニ戰役中ニ占領地ヲ以テ遼東郡ニ
屬セシモ亦當然ナリ。是レ全ク歷史上ノ

關係ヨリ來レルモノニシテ、蓋シ漢ノ直
領地ノ住民ト故朝鮮國民トハ蓋シ言語風
俗習慣ヲ異ニセシナルベシ。故ニ唯今日
ノ行政區劃ニ關スル智識ヲ以テ臆斷
スルコト能ハズ、以上ノ見解ハ史記漢書
等ヨリ推斷シ、又之ヲ遺物ノ上ヨリ考證
シテ謬ニ非ルベシト思考スルモノナリ。
最後ニ樂浪郡ノ疆域ニ就テ一言セン
樂浪郡ノ地ハ滿洲ニアリテ最北ハ鐵
嶺ノ南方ニ達シ西ハ遼河ニ至リ、ハ奉
天及遼陽附近ヨリ以東ニ及ビテ數縣ヲ有
セリ。中央ハ列水即今大同江流域及海

崖地方ナル次縣ハ正ニ樂浪郡ノ中樞タル大
セシナリ。道南部ハ載寧江流域及海岸地方ニ
數縣ヲ配置シ以テ嶺東穢貊後ノ南界ハ大
體ニ於テ滅悪山脈ヲ以テ限リ、防禦上並ニ
通商上ノ關係ヨリ同山脈以南ニモ要地ヲ
シ占領シ、最南端ハ碧瀾渡（禮成江口）附近
ニ達セシモノヽ如シ。又嶺東穢貊前ニ
至ツテハ今ノ江原及咸南々部海岸地方ニ
シテ其縣ヲ領シ、最南界ハ恐ラクハ慶北道境
ニ達セシナラン。

樂浪郡諸縣沿革表

區域	縣名 漢	縣名 新	縣名 後漢	縣名 晋	現今地名	備考
滿洲	遂成	同上	遂城	同上	遼寧奉天ノ西北遼河ノ邊	(晉書)秦築長城之所起
	鏤方	同上	同	上	遼寧遼陽ノ東	(清統)遼陽州東、捕擢東平府、渤海及金ノ紫蒙縣
	浿水	樂鮮亭	浿水		遼寧奉天ノ南	(清統)奉集故城在承德縣東南 (遼史)集州漢險瀆縣地
初滿洲後朝鮮	增地	增土	增地		遼寧奉天ト遼陽ノ中間	(漢書)水西至增地入海
	海冥	海桓	海冥	同上	遼寧奉天ト鐵嶺ノ中間 黃海	渤海、金ノ興州屬縣 把樓
	長岑	同上	同上	同上	遼寧奉天附近 黃海松禾郡カ	(遼史)在京東北百五十里 下里面清溪里ニ長嶺洞アリ
平安	朝鮮	同上	同上	同上	平南大同郡柴足面カ又ハ江東郡馬山面カ	柴足面南京里地勢宜シ 馬山面ニ漢代土里アリ古墳多シ
	訷邯	同上	同上			
	駟望	同上	同上	同上		
	渾彌	同上	同上	同上		

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]			[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]		[illegible]			[illegible]	[illegible]
	[illegible]		[illegible]			[illegible]	[illegible]
	[illegible]		[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]
	大[illegible]	西	〃			[illegible]	[illegible]
	[illegible]	西	〃			[illegible]	
	[illegible]	西	〃			前同水澤	
[illegible]	[illegible]	西	〃			[illegible]	[illegible]
	[illegible]	西	〃			[illegible]	[illegible]



前漢代遼東圖
朱字 前漢地名河名
前漢代海岸湖岸線(想像)
同上河身(想像)
現今雨期氾濫スル地方
遼東郡縣治址
山岳ト平野境界線
遼寧省
河北省
朝鮮
渤海
黃海
東海
日本海
山東省
河北省
西遼河
東遼河
老哈河
大凌河
遼河
渾河
太子河
鴨綠江
佟佳江
遼陽
鐵嶺
開原
新民屯
錦州
山海關
昌黎
海城
蓋平
金州
鳳凰城
安東
新義州
平壤
天津
上谷
漁陽
右北平
遼西
樂浪
臨屯



山東省
黃海
朝鮮
日本海

月[illegible]手 [illegible]

朝鮮總督府中樞院

(山口納)